



皮ごと食べられるシャインマスカット

総社自慢の果物が実る

ブドウ・桃の生産ピーク

7月から8月にかけて、ブドウや桃の生産が最盛期を迎えました。マスカットやピオーネ、白桃などの一大産地である総社市。猛暑の中、市内の果樹農家は収穫に精を出していました。

収穫されたフルーツは、県内だけでなく全国に出荷。日本各地で楽しめる夏の味覚となっています。



総社もも生産組合の選果場



紫黒色のニューピオーネも生産



秦の選果場で出荷準備



大玉で甘い白麗を収穫



義民二百年祭の唄を全員で唱和

コロナ禍でもつなぐ思い

市内の夏のイベント

新型コロナウイルス対策のため規模を縮小しつつ行われた、市内のイベントを紹介します。

(写真左上) 7月18日、新本地区の義民社で義民祭の社前祭が行われました。地域の関係者に加え、今年は新本小学校の6年生9人も出席。ふるさとを守った義民4人衆への敬意と、その功績を語り継いでいく決意を述べました。

(写真右上) 7月25日、清音河川敷グラウンドでサプライズ花火が打ち上げられました。中止となった清流まつりの代わりとして、地元団体が企画。通りがかった家族連れなどを楽しませていました。

(写真右下) 備中国総社宮で7月25日、輪くぐり祭が行われました。今年は、災害や疫病を除く神をまつる祇園神社前に茅の輪を設置。参拝者は輪をくぐり、家内安全や無病息災を祈りました。



約70発が打ち上げられた



無事と安全の祈りを込めて輪をくぐる

ミニフォト

科学の不思議を体験



風船を通して声が伝わるか実験

8月4日、昭和公民館で子ども不思議実験教室が開催され、19人が参加しました。傘袋で作るロケットや糸の代わりに風船を使う風船電話を制作。実験を楽しみながら、空気の振動で音が伝わる仕組みなどを学びました。

総社ゆかりの美術を探ろう



クイズの答えは絵の中にあるよ

7月4日から8月23日まで総社吉備路文化館で、雪舟など総社ゆかりの作家の企画展を開催しました。子どもも楽しめるよう、作品に関係するクイズも出題。訪れた人は、一つ一つの展示をじっくりと鑑賞していました。

オンライン授業で交流



離れていても空はつながっている

山手小学校と新潟県十日町市の中条小学校が7月17日、Web会議ツールを利用して合同で理科の授業を行いました。両校の5年生計95人が参加。互いのまちの空を観察し、6時間後の天気を予想しました。

満開のヒマワリが咲く



一面が黄色に輝く

7月、備中国分寺周辺に咲くヒマワリが見頃を迎え、鮮やかな黄色が吉備路を彩りました。夏の風物詩と五重塔を一枚の写真に収めようと、アマチュアカメラマンや観光客がヒマワリ畑を訪れていました。

きれいな川は何がいるかな



どんな生物がよく観察

池田分館で7月25日、水生生物調査を行う水辺の教室が開催されました。参加者は、楨谷川で採取されたヒラタカゲロウやヤマトビケラを観察。生物の種類や数を調べ、川の自然の豊かさや水質を判定しました。

静寂の中で精神を統一



姿勢を正し、呼吸を整える

8月1日から5日まで、井山宝福寺で暁天座禅が行われました。毎夏恒例の行事で、今年は約200人が参加。早朝の澄んだ空気の中、参加者は方丈の縁側で座禅を組み、心を落ち着かせて自分と向き合っていました。